

本庁中央部地区まちづくり集会（H25.10.13 開催）

本庁中央部地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年10月13日（日）14：00～15：30

◎場 所 生涯学習プラザ（ドリームシップ）

◎出席団体数 12団体

上田中自治連合会、中央地区自治連合会、丸山第一自治連合会、丸山地区自治連合会、王江小学校PTA、名池小学校PTA、下関老人クラブ連合会中部支部、王江校区体育振興会、名池校区スポーツ推進協議会、中部地区民生児童委員協議会、上田中地区食生活改善推進協議会、名陵校区青少年育成協議会

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三

◎傍聴者 無

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 14：00～ |
| 2 部次長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 14：05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14：30～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 15：30 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域内分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

本庁中央部地区まちづくり集会（H25.10.13 開催）

【開催の様子】

10月13日に開催した本庁中央部地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から12名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、本庁中央部地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

本庁中央部地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

本庁中央部地区まちづくり集会		10月13日		本庁中央部地区まちづくり集会		No2 10月13日	
地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
福祉				安心・安全			
高齢化の進行に伴う見守り活動の必要性		地域と行政の連携		避難場所の再検討が必要		地域で話し合い	
高齢者の買い物困難		企業の買い物支援情報を地域で共有	近隣スーパーとの連携で買い物支援対策	交流			
スポーツ		地域の団体同士で話し合い、参加者を増やす	行政の指導の必要性	世代間の交流が少なく次世代への世代交代ができない			
少子高齢化等によって参加者が減少		（全統） 新たなまちづくりに向け、自治連合会の再編を検討		教育			
学校選択制によって地域人材の確保が難しくなっている				子どもの数が少なく、クラブ活動、PTA活動が困難（教員数も少ない）		学校の統廃合を検討	
市補助金の規制が厳しい							
まちづくり	公共施設への無断駐車		行政の縦割り解消				
子育て							
通学区域が複雑で、自治会での子育てが難しい		町内全体（学校・地域・家庭）で話し合いを実施	コミュニティスクールと地域分権組織との範囲を考慮した仕組みづくり				
子どもの遊び場の有効活用							
子どもの数減少によって子ども会の維持が困難		自助・共助・公助					

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

今日のこの会議の進行役を仰せつかりました、上田中自治連合会の会長をしております。本来であれば、丸山第一自治連合会の会長がこの進行をされるのが当然なのですが、少し体調が優れないということで引き受けました。一つよろしく願い致します。

それでは、地域の現状と将来を見据えた課題。随分、大きいようで小さいようで、ちょっとよく分からないですけども、身近な事柄を思い浮かべて頂きながら、自分の地域、或いは、自分の所属しているそういう団体の中で、今までの皆様方が変えていかなきゃならない、そういう課題としてどんなものがあるかということで、時間的に既に2時40分を過ぎておりますので、3時までという指示を受けていたのですが、少し伸ばしまして3時5分ぐらいまで、時間もありませんので簡潔に、そしてご意見のある方は、挙手をして頂きますよう、よろしく願いしたいと思います。

【市民】

自治会の区会長をやっております。自治会の現状としては、高齢化が非常に進んでおりまして、今年も2件の孤独死がありました。

それと民生委員もしております、見守りをやっておりますけれど、1人で200世帯を持っておりますので、現状としては、なかなか行き届きません。

今、打開策として、子ども会が廃品を月に2回集めますので、子ども達に頼んで廃品回収に併せて高齢者のお宅を回ってもらっています。

それと老人クラブを10区に分けまして、民生委員の指示により各クラブ区長に回ってもらうようにしました。今のところは、何かあったら全部、民生委員に届くようにしています。ただ、見守には本人のプライバシーがありますので、行っても拒否される場合も多いので、それが今一番の問題です。

【司会】

高齢化の進行に伴う課題が出ました。他に、そういうものを一つずつ挙げていけば良いですよ。

【市民】

王江校区体育振興会から参加しました。

まちづくり集会ということですが、自分たちの組織の問題点ということでの発言でよろしいですか。

我々は、スポーツ振興会ということで、レク・スポ大会を行うに際してどうしても振興会、自治会長、或いは住民の皆さん、学校、PTAとの間の意思疎通が悪くて、連携がなかなかうまくいっておりません。少子高齢化、また核家族化そういった問題は、それぞれよく言われると思うのですが、子どもがいないから、あるいは高齢者が多いから、また若い方も核家族が多く、家族単位で行動しているといった事で、大会への参加者は非常に少なくなります。我々の運営の仕方も悪いのかもしれませんが、そういう状況ですので、やりやすい競技、或いは参加しやすい競技へと限られてしまって、毎回、同じ競技であった

り、同じ顔ぶれになったりして、どうしても振興会としての主旨を全うしづらい状況です。

2点目として、今、学校は校区外通学も認められているので、小学校は、どこに行っても良いということになっております。同じ地域に住んでいても校区が違う。特に、その校区にあった幼稚園、或いは保育園が廃園になると、どうしてもそういう傾向が増えてきます。こういう小学校の児童を持つ保護者というのは、我々にとっては大変重要なんです。世代交代するにしても、色々な活動するにしても、一番欲しい人材です。それが、学校自由化になったため、一方でこのような弊害が起きているということです。

私は学校を選べるというのは賛成なのですが、振興会という立場では、これから毎年、小学校に上がる子どもが10人前後で進むのだろうと思っております。

それから組織の高齢化問題、或いは世代交代です。我々も世代交代のための努力はやっているのですが、どうしても振興会の意義や必要性が、市民の皆さんに十分理解されていないので、我々のアピールの仕方も悪いのかもしれませんが、もっと理解して頂きたいと思っています。地域に住んでいる方からも、振興会って何、という言われる事も相当あります。ただ、もっと市も市民へのアピールであるとか、我々に対してもっと実現的な意見、情報、指導を頂かないと、我々だけでは、どうしようもない状態に今なってきています。

最後に振興会の在り方ですね。校区によっては、うまく活動している所もあると思いますが、本庁管内、特に私の所而言えば、あと数年もすれば立ちいかなくなるのではないかと危惧しております。ですから、本来、振興会の在り方とかを根本的に考え直す時期に来ているのではないかと思っております。

最後に余分ですけども、補助金について、市民の皆さまの血税を使わせて貰っているんですけど、余りにも縛りを厳しくされますと、我々が今から活動して世代交代する中で、色々な情報が欲しい中で、あまり縛りをきつくされると大変やりにくいというのがございます。

振興会とは関係ございませんが、最後に一市民として、最近、私の家の近くで、2か月間に渡ってビルの解体工事がありました。その工事のやり方が、非常にむちゃくちゃでした。日曜・祭日も関係なく、朝は早い時間で7時から、夜は7時から8時までは当たり前で、私の知る限り、夜中の12時まで解体工事をやっていることもありました。

こういう事に関しては、市の方、行政の方からの何らかの指導は出来ないものでしょうか。付近の方も、何度か行政や警察に電話したらしいのですが、何もして頂けなかったということでした。こういった前例ができると、今後もまた、こういう事が起こり得るので、一市民として、市の方、行政の方なのかはちょっと分かりませんが、対応できないものかお伺いしたいです。

【司会】

ありがとうございます。申し遅れましたが、皆様方から出された色々な課題は、このスライドに、すぐに写し出されておりますので、そこも見ながら話を進めて頂ければと思います。色々な意見が出て参りましたが、まだ有るのではないかと思います。こんなことを聞いてどうだろうかというような事もあるかと思っておりますけれども、遠慮なく出していただけたらと思います。どうぞお願い致します。

【市民】

名池校区スポーツ推進委員から参加しました。
素朴な質問ですが、地域支援課は予算を相当お持ちなのですか。

【市】

地域支援課の予算ですか。それほど多くはありません。

【市民】

例えば、色んな外灯を建てるとき、去年、市長さんとのタウンミーティングで、市役所の前の外灯を要望したら、「そういうものは出来ません」という冷ややかな回答が来ました。

市役所を改めて建て直すといつて、地域住民への説明会があったのですが、その時、子どもたちの通学路になっていて非常に暗いですよ、という提言をしてから、既に1ヶ月もの間が経っています。もちろん市役所の目の前ですから見て頂ければ分かりますけど、そういう所が行政なのかなと思って。

先ほど、縦割りの話が出ましたけど、もう返事が済んだら、それで終わりなのか。

地域支援と言っても、会合を重ねたって何の意味も無いじゃないですか。何か具体的に、そういうことを我々市民に、こういうのをやりましたよということが無く、漠然と平成27年までのプランが出来ていますが、現実的、具体的に、市が何をやったのかが、我々には全然見えてこないです。

それこそ、今日でも時間的に大事な時に皆さんを集められて、市が何をしてくれたんだ、それから地域に何を望んでいるのかというのが、全然見えてこないのです。

私から言えば、一つの提言を言っても、それを一つ返事で却下される。予算が有るのか無いのか分かりませんがそういうこと。

それから学習プラザは市の管轄なのですか。何故こういう事を聞くかと言うと、よく講演が開催されていますが、駐車場の料金が非常に高く、今日は私、歩いてきましたが、とても高いと個人的に感じています。

だから、講演を聞きにくると、講演のお金とは別に、駐車料金が700円から800円かかります。地域のためにやるのだったら、講演をやる時には駐車場無料券を2時間分配布するとか、そういうことも提案をしていただければと思います。

【司会】

ありがとうございました。環境、教育、高齢者関係それから子育て、安全・安心、そういったような事柄を思い浮かべて頂ければ、自分の地域でこんなことがやっぱり問題だなと、色々感じることもあるのではないかと思いますのですが、どうぞ遠慮なく出してください。

【市民】

後田地区は東部南、西の尾、後田1町、2町と広く、小学校の校区も生野小学校、向山小学校、文関小学校があります。中学校になると山の田中学校に行く子もいれば、日新中学校行く子、向洋中学校に行く子と色々なのです。そのため、時々、自治会長もこれほどこがやろうかと迷っている事もあります。そういう場合、子供たちの親が、うちの子をこの学校に行かせますと報告した方がよいのでしょうか。

そういった状況のため、子ども会も作れません。

今は、後田5町だけだと子供の数が少なくなって、後田5町、石神町、後田3町、後田1町で集まっても子ども会ができない。だから子どもを守れと言われても、自分たちの範囲内で話合っていますが、大人、それに若い人の人数は足りません。

その上の代、私達はそういう年代の人たちと普段からお会いするから余計に思うのですが、老人会というものは沢山あるけれども、一体何をしているのか、もう少し、子どもさんを守って欲しいなと思います。

学校の行き帰りも、私の近所では、うちの孫1人だけでしたが、団地ができましたので今は4人になりました。子供の送り迎えは主人に頼んでいますが、老人会はどここの町内にもありますので、そんな方たちも協力して頂くことはできないでしょうか、それにはやはり、町内で話し合わないといけないということでしょうか。

【市民】

老人会の件ですが、我々のところに老人会がありますけど、老人の見守をやっています。それは自治会内で話し合いをして、「老人会でやってください」となりました。

下老連に入っているクラブは、下老連で見守りをしてくださいとの通達がありますが、お宅の地区は下老連に入っていますか。

【市民】

私は、それについて、さっぱり分かりません。

【市民】

下老連に入っていたら、支部長がおります。支部長に下老連から通達がいつています。それ以外なら、町内で話し合いをして、老人クラブでやって下さいとお願いすれば良いと思います。私の所は自治会長が、3つの老人クラブの会長をしておりますので、老人クラブ会員に民生委員にも頼んでおります見守りを全部、頼んでおります。

それは本来、地域全体がやる事であって、老人クラブだけがやる事ではありません。

それだけ理解しておいてください。

【司会】

通学区域と自治会との関わりというのが出てきていますが、後でどの様に課題を解決していくかについて、次の整理の中で話をしていきたいと思いますので、他に問題点はございますか。

【市民】

中部地区の民生委員協議会です。

この中央部自治会、私は南部町ですが、高齢者がとても多いのですが、山坂が多くて、買い物をする場合、皆さんはタクシーで帰って来たりします。

そのため、サンリブにお願いして、1軒当たり料金を決めて配達してもらえればと思うのですが、個人でお願いしても難しいと思いますので、市からそういったことをお願いしていただければ良いなと思います。無料でという訳では無いです。家庭ゴミを出すにしても、高台の家から高齢者が持って降りるのは大変なのですが、そういう事を全て無料にすると、多分近所の人にも頼み辛いですから、そういったボランティア団体を募集して、何

か組織的にやって頂ければ。

それぞれが、自分はどういったことができるから手伝いをしようか、それもやはり何らかの報酬を出せば、そういったゴミ出しとか買い物、買い物はそれぞれのスーパーとか販売店の方が、パートの人を集めて一軒当たり幾らとかして貰えると助かるなどと思います。

これからは、足腰の弱い高齢者もだんだんと増えてきますので、重宝されるのではないかなと思います。

こういったものも、市から先に話をしてもらって、それから聞く体制になれば、私も民生委員なので、色々と高齢者からお話を聞きますけれど、初めのきっかけは市にお願いしたいと思います。

もう一つ、私の家の目の前が「あるかぼーと」で、芝生公園の植え込みも済んで芝生も丈夫に生えていますけど、あそこをどこまで使って良いのかなと、市に何か決めて貰えれば良いと思ったりします。

今は、円形の池というか、川のようにして水が流れていますが、だれもあそこで遊んでいませんが、あそこが出来た当時は、子どもが半ズボンで、中でバシャバシャ歩いていましたけど、今は観光地になって、あの周り遊園地もできて通る人も増えたけど、あの川のそばに行く人がいないのです。あそこに入ったらいけないとは書かれていないのですが、水は飲めませんとは書いてあります。入って遊んでもいいとは書いてなくて、誰も入らないのです。せっかく池を作ったのに、もったいないなと思います。

【司会】

高齢者の介護の困難等に伴う日常の支援とか、子どもの遊び場そういうようなことに関連する意見が出てきました。まだご発言のない方で、何かご意見等あれば、時間もあまりありませんので、よろしくお願い致します。

【市民】

名池小学校のPTA会長をやっております。

前回のタウンミーティングの中では、世帯数が減ってきているので、子育て世代の人口が増えたら良いなっていうことで、安価な住宅に関する要望を挙げています。実際には、隣の王江小学校もそうですけど、名池小学校は、来年は28人の子どもの入学を予定しています。だんだん減っているといえますか、横ばいです。

PTAというよりは子ども会のお話ですが、子ども会の維持が難しくなっています。

先ほど、王江校区体育振興会からお話がありましたが、子ども会も、今後ますます衰退傾向と言いますか、実際、お母さん方も役員になりたくないから入りたくない、という方がいらっしゃいます。そういうマンパワーといえますか、人材不足といえますか、そもそも人間の数が少ないので、人口がもう少し増えたらと思います。

他の地域には、結構、人口が増えている学校もあるのに、何故、ここは増えないかという所で、そこを何とかしていけたらなと思っております。

【司会】

ありがとうございました。子どもの育成ということで、子ども会の維持が困難であるが、その中でどういうことができるかという提案がありました。他にご意見がございますか。

もう一人か二人お聞きしたいと思いますが、丸山の方で何かありますか。

防犯・防災、何かそういった方面の課題があるのではないかと思います。

【市民】

余り私だけが長く話をしてもいけません、防災について、今、自治連合会でそれぞれ自主防災組織をとというのが投げかけられている訳です。先ほどからお話が出ていますように、各自治会の構成する地域住民の方の高齢化と共に、若い方も実質的にも少ないということがあって、現実的に組織を持って防災活動をやるということは、難しいのではないかと考えています。それと避難箇所の問題もあるのですが、王江小学校、或いは名池小学校が指定されていますが、これらは結構、高台にあります。現在、想定される津波の高さは4メートルと、改めて数字が出ましたので、もう一回それぞれの地域における防災指定箇所の見直しなども必要ではないかなと思っています。

ただ、そうはいつでも安全・安心をどれだけ守れるかというのは、地域としては問題、課題ですので、それこそ当初に提案がありました何ができるのか、ということ新しく作り上げる自治組織の中でも、しっかり我々の方も考えなければなりません。

行政の方もこの地域に対しては、特にそういう地域特性の中で、どの辺がサポートできるか、そうした協議もまたお願いできればという風に思います。

【司会】

ありがとうございました。高齢者の安全な避難箇所、避難しやすい場所の確保というのも大きな課題だろうと思います。私の自治会を見ましても、名池小が避難場所になっているのですが、こんな足の悪い私が、どうすればあそこまで行けるのか。タクシーを呼んでも実際に、緊急避難そういう非常事態の時にはタクシーも動かないのでは、そういったことを言っておられました。そういった問題等あるのではないかと思います。もう一人お聞きしたいと思いますが、どなたかありますか。

【司会】

先ほど名池小学校PTAの方も言われましたけど、人口の減少と既存の組織との結びつきには、若い世代とある程度の年齢の世代とのギャップが結構あって、若い人は若い人、そうでない人はそうでない人、ここの連携をどうしていくのかが、色々な組織で世代交代がもう既に起きている所も沢山ありますし、今からという所あるのですが、上手に世代交代をするために、若い人たちとの連携を取らないといけない。

若い人はもっと前面に、PTAの方々、私もそうですけど、もっと地域に出て行って今から交流を若い者からしていかないと、そのうち自分たちが担っていかなければいけなくなるという思いで、PTA役員をされている方の中にも、そういった考えを持つ方も多いと思います。やっぱり若い人がもっと前面に出て行けるような社会というか、受け入れ側も若い人を登用して頂いて、舞台を作って頂ければ、そういう分かりやすい世代交代ができる地域になっていくと思います。

【司会】

ありがとうございます。世代間の積極的な交流といいますか、それと次代を担うリーダー作りですか。これは大きな課題だと思いますが、色々な意見が出て参りましたが。

【司会】

王江小学校PTAとして参加しました。

これは、私個人の意見かもしれませんが、先ほど名池小学校のPTA会長もおっしゃられていましたが、王江小学校も今、はっきりと児童数は分かりませんが、100人弱で、家庭数は90世帯です。

私の子どもは6年生で、PTAも今年が最後の年になりますが、6年間のうち4年間ずっとやっています。やはり、お母さんたちはなかなか役員をやりたいがらないので、PTAもお手伝いされる方が決まっていますので、物事が何も進みません。

私も執行部として、今度される方を探しているのですが、皆、逃げているように感じます。小学校はそういう現状なので、一回中止になりましたけれども、そろそろ小学校の合併について、私はもう考えても良い時期ではないかと思うのです。大きな課題になると思いますけれども、名池小学校でも同じような問題点を抱えていると思います。

やっぱり子どもがすごく少ないので、例えば小学校から中学校に上がっても、部活の種類が少ないので、サッカーをやりたい子どもは日新中に行かれます、越境入学。

うちの子はスポーツよりも美術が好きなのですが、名陵中学校は余り美術が盛んではないです。そのため、中学校もどんどん受験で九州方面であるとか、中等教育へと進学するので、地元の中学校も、小学校と同じく人数が少なくなって、小学校から同じような問題を抱えていくようになります。個人の意見になりますけれども、そろそろ合併という方向に行ってもいいのかなと思っております。

【司会】

ありがとうございました。世帯数と子どもの減少に伴う学校の統廃合。これも最近、また話が出てくるのでしょうか、教育委員会の方も取り組みをされていると思います。

おかげさまで色々な意見、たくさん課題が出てまいりました。

あまり時間もありませんので、次の課題解決や活性化についてということで、どんなことが考えられるか、すぐ解決できるような、そういう策はなかなかないと思いますが、個人で解決できるもの、取り組めるもの。それから地域で取り組めるもの。行政が支援し取り組んでいくもの。そういう3点から、その中でも特に地域で解決できるもので、何か、どういう方法があるだろうかということで、今から順に話をさせて頂けたらと思います。

まず福祉に関する事柄で、高齢化の進行に伴う見守り活動の必要性、それから高齢者の買い物の困難。こういった事柄で日常的なそういう生活に関わる課題で、こんなことが考えられます、こんな方法があります、ということがあれば出して頂きたいと思います。よろしくお願いします。

【市民】

高齢者の買い物支援については、イオングループがやっています。マルショクは知りませんが、宮田町のイオンであれば、いくらか買えば配達してくれます。

【司会】

イオングループはやっているの。

【市民】

別にマルショクだけではないので、その辺のシステムはよく知りませんが、よく広告に書いてあります。だから、幾らか買えば、どこまで配達するか知りませんが、何かそういう高齢者向けのコマーシャルも流れています。

【市民】

そういった地域への参入にしても、若い人でも荷物が沢山あれば、受付をすればして頂けるみたいです。

【司会】

それを知らないのでしょうか。だから高年齢の方がそういうシステムを知らないという部分があるから、地域でもやはり自治会か何かでお知らせするとか、そういう形をとらないとなかなか難しいのではないかと。

【司会】

自治会と業者とが話し合っ、何らかの方法を考えるべきかと思います。

【市民】

スーパーは完全にやっていますから、ただ個人的にいくら買えばという限定的なものですから、自治会が動いてという感じではないと思います。それはもうイオンがやっていますので。

【市民】

イオングループは全国でやっている訳ですね。市からは、そういった情報などを回覧してないのです。

【司会】

それは別段問題ないと思います。市とイオンは関係ない。

【市民】

金額等は知りませんが、100円のを配達してくれと言ったら、ちょっと無理かもしれせん。

【司会】

一世帯では少なくとも、全体である程度まとめるということも可能です。地域で取り組める一つの解決方法として、今、案が出されました。

【市民】

それから生協なんかもグループで、うちの女房もやっていますけど、配達で地域のところまで持って行って、1週間のメニューみたいなものがあって、それを見て買って配達する。

【市民】

そういったものは、高齢者の独り暮らしの人には難しいのではないですかね。

【司会】

日常生活的なものを販売する、そういう業者と自治会とが話し合う場のようなものを作っていく、そういうものが必要だ。これは、行政にお願いすることの中に入るのか、どうなるのか。

【市民】

自治会では直ぐにはできないだろうから、行政が中に入ってもらわないと。

【司会】

そういった橋渡しがあるとうまくいくのかな。これは絶対的な解決方法じゃなくても良いのだらうと思いますし、要望的なものでも良いと思います。

要望的なものもあるかと思いますが、何かそのようなものができるともっと良くなっていくのかなという気もします。

見守り活動については、民生委員、或いは福祉委員、そういったような組織ができておりますので、それらをもっと積極的に活用していくということで解決していくのではないかと思います。

では、次のスポーツに関する事柄で、少子高齢化によって参加者の減少、学校選択制によって地域人材の確保が難しくなっている。

市からの補助金の件はちょっと置いておきまして、その二つの面からご意見をお願い致します。

【市民】

私は文関校区スポーツ振興会の理事をやっております。

文関校区の場合は、各自治会の会長と子ども会、スポーツ少年団、各関連団体を10月10日に全部集めて話し合いをします。そのおかげで、文関校区の場合は、人数は減らずに増えております。その代わりに、積極的なアピールも必要です。

自治会と子ども会全部を、スポーツ振興会の役員が回ります。そういった事までしないと、来て下さいと伝えるだけでは、人は集まりません。自治会長に根回しするのが一番大事だと思います。そうすれば、何とか人は減少しないと思います。

【司会】

団体との話し合いという事ですね。

学校選択制、昔は通学区域が非常に厳しく決まっておりましたが、今は柔軟になっております。私の自治会でも部活の関係で日新中学校に行ったりする事がありますので、全ての子どもが一つの学校に行く訳ではありませんが、そういった事柄が問題を複雑化しているのかもしれない。これは先ほど出ておりました学校統廃合等との関係と絡めていくという事で、そちらの方で何かご意見があればお伺いしたいと思います。

【市民】

私、昨年のタウンミーティングで、市長に質問しましたら、自治会等からでない、市の方、行政からは動かないと回答されました。やっぱり自治会等の方から働きかけないと、我々は動きませんと、はっきりおっしゃいました。だから、名池小学校と王江小学校の統合の問題もありますけど、他の地域は知りませんが、現実に名池小学校は生徒数が今は120人ぐらいかな。

【司会】

そういう事になってくると、先ほど出ていた中学校区の単位で自治会の再編成というものを、これを知って貰うには一つ大事なことで、運営委員の役割というのが、そこで一つまた出てくるかと思えます。丸山第一自治連合会の会長は運営委員でもありますので、こ

の辺を頭に入れておいて頂けたら良いのではないかと思います。他にありますか。

今、何か続けて言われようと言われたようでしたが、それでは、この件はこれで良いですか。

それでは、3番目のまちづくりに関する地域要望、これに対する市の対応が見えづらい。これは、こんなふうに市がやってくれたら良いのではないかと、という要望がありますか。

【市民】

だから一つの要望をしても、こういうディスカッションをしても全然、前が見えないです。例えば外灯についても、市役所の目の前の事で、私は何度も市にお伺いした。自治会も使って、子どもの通学路だから、あそこは夜になると真っ暗で危ないから、市で対応して下さいとお願いしても、地域の方が言っても却下ですから。

それで市役所を立て直す時に、あれは何課だったか、地域の方々が伺いしてお願いをしたら、それは我々に頼んだ方が早いですよと言われて、1カ月も経たないうちに建っている。皆さんも見てもらえれば分かると思います。

これは、本当に縦割りだなと思いました。回答は駐車場のための外灯だから、子どもたちの通学路には関係ないという回答だったのです。私は、それを聞いてものすごく腹が立ちました。

今日、市からこられている方は、違う方だと思いますけど、ものすごく不審に思いました市役所、行政に関しては、今はとても明るくなっています。

【司会】

自治会を通して要望を出してやれば、すぐやって貰えますよ。

【市民】

そういう意味では、どこの自治体でしたか、何でもやる課というのがあって、縦割り、横割りの関係がうまくいっている市もあるようですので、市の方でもその辺、考えて頂けたらと思います。

【市民】

全然別の話になるかもしれませんが、忠霊塔、あそこの駐車場にいつも止まっている車があります。朝来て晩まで。そういう車は、警察の方の仕事になるのですか、それとも市の仕事ですか。私はいつもあそこを廻る際にメモをします。そしたらいつも止まっている。こっちに止まっていると思ったら、障害者専用の所に止まっていたりもする。

あそこは、そんな人のための駐車場ではないはずなのです。公園に遊びにきたり、散歩したり、サッカーをしたりする人たちのための駐車場だと思うのです。朝、私の家の周辺の道路はすごく車が増えました。そして、忠霊塔に行ってみると、この人は制服のまま何をするのかと思ったら、その車に乗って帰るのです。だから、あの辺のお仕事の関係者だと思うのです。あれは注意して、「ここは常駐してはいけません」というように書いて欲しいです。

【市】

公園緑地課が所管だと思いますが、ずっと置いてある車については、不都合があったらチェックして張り紙をする。ただ財産権の事もあるので、勝手に、簡単に処分はできません

ん。だけど、そういった取り組みで、もちろん連携を取って注意もしますが、なかなか難しいです。

【市民】

だからこっちに止めたり、あっちに止めたりするのです。

【市】

公園の駐車場なので、公園緑地課です。

【市民】

私は、ほとんど毎日歩きますから分かります。私は、それに対して注意する権限は何もないですから、言えません。ただメモしているだけです。

それと、障害者専用のスペースにも堂々と止めています。

【司会】

駐車場の問題ですね。最後に、子育てに関する課題、これはどうでございますか。通学区域との関連もその中に入っておりますが、遊び場の有効活用、それから子ども会の維持、こういったような事柄で何かご意見がありますか。町内全体で話し合いを実施という大きな方向性が示されておりますが、こんな風にやったら良いのではないかと、というご意見等があれば。

【市民】

子育てについてですが、昔は学校と地域と家庭、この三つで地域の子ども育てるということが良く云われてきましたが、最近そういう事が全く聞こえて来ない。そういう連携が全く取れてないのかなと思いますけど。

【司会】

今日は、ちょうど名陵校区青少年育成協議会の会長がいらっしゃいます。

コミュニティ・スクールというのは、そういった課題を一つ解決していく、そういう団体として活動が始まっていると思うのですが、何かその辺でご意見ございますか。

【市民】

今、名陵中学校のコミュニティ・スクールとして、名陵校区の中で色々、学校・家庭・地域の連携を取りながら、学校の運営までも入って行くということをやっています。

各小学校にもコミュニティ・スクール運営協議会というのが出来ています。

ただ、去年設置はされていますが、名池・王江小学校のコミュニティ・スクールの運営協議会としての具体的な動きは無いと思います。

【市民】

既に動いています。もう2回、名池小学校で。

この11月にも、またあります。

今から少しずつ動くと思いますので、ご協力を頂ければと思います。コミュニティ・スクールの動きと、このまちづくり会議の動きは、多分範囲が違うので、その辺がどうなのかなと。最初は会長が言われたように、範囲の作り方の問題が出てくるのかなということ、やりにくい部分があるのかなというふうに思います。

【司会】

色んな団体があるけれども、その団体と自治会がどう連携を取り合っって有効な街づくりを進めていくか、あるいは日常的な生活の中でそれがどう活かされていくか、ということが私自身も手探りです。だから、その辺は先ほど出ておった行政が色々なPR、情報を与えてくれて、それに基づいて機会を作って頂ければ、まちづくりに向けての将来を見据えた問題解決というのが、かなり進んでいくのでは。

そのためには、我々市民の意識改革を凶らないと、自助、公助、共助、この三つの事柄の中で、何でもかんでも行政がやれば良いということでは難しいでしょう。その代わり何でもかんでも、自治会でやれと言われても困るわけですが、この三つの連携が、本当に変えられていくかということが一つの課題なのかなと思います。

時間がないので、最後に部次長さんの方でごあいさつがあるようなので、これで打ち切ります。スクリーンに色々な課題とその取り組みというようなどころが出ておりましたが、お願いですが、今日の出席者にこれをまとめたものを、後日送っていただけますか。その方がいいですね。

【市民】

一つだけ、例の避難箇所の再検討は入れているのですね。大丈夫ですね。去年もある委員の方が指摘をしておりますので。

【司会】

世代間交流のところで、何か意見があれば。

これは難しいね。

【司会】

私が極力、何とか若い人に、若い人といっても60代が、そういう人たちに何とか働きかけをして、バトンタッチしないとなかなか自分が死ぬまで、自治会の仕事をやらないといけないということになるので。ようやく今回、民生委員の仕事をバトンタッチできたのです。これ難しいですね。何かご意見ありますか。

【市民】

教育の所ですけど、学校は残して欲しいのですが、結局、学校の規模が小さいということは先生の数も少ないので、先生がすごく大変な思いをされている。

結局、学校を運営するのに先生の数が少ない、クラス数が減っていくと校長、教頭と担任の先生だけで、名池小学校はまだ良い方ですが、王江小学校はもっと先生の数が少ない。

【司会】

教員の配置は、児童数・生徒数に応じてきますから。

【市民】

王江小学校は教頭先生が理科をやったりもしています。

【市民】

美術とか特殊な先生がいないし、だから教頭先生にも負担がかかる。

【市民】

ただ、学校統合の問題は、何年も前に説明会があったのですが、その当時は、名池とか王江小学校の名前が消えるからいけないとか、1年生が非常にかわいそうだとか、そうい

う感情論で流れているのです。

だけど、今は保護者の考え方もかなり変わってきていて、これでは本当の教育ができない。そういう意見も出てきております。だから統廃合については、近いうちにここに委員もおられますけれど、課題に上がってくるのではないかと。

【司会】

色々なことを出していただきまして、大変、進行としても助かりました。これを一つ配っていただきますようお願いいたします。皆様方にお礼を言って私の進行は終わります。

【市】

どうもありがとうございました。今日、特にご意見の中に行政が必要な情報を提供してくれたら、行政がこういう支援をしてくれたら、というのがありました。やっぱりこういう風に幅広くお集まり頂くと、行政側が関わるのは、どちらかという行政目的で積極的に進める時には、割りと前向きに出て行くのですが、必ずしもそういう時ばかりでなくて、幅広い皆さんがお集まりになってお話をされたら、本当に色々な課題や身近な中での不安感のあることが出てくる訳です。

そういう時にこそ、行政情報を必要な所に提供すれば一気に皆さんとそういうふうなことについても共有できていく。それぞれ自治会はそれぞれの役割、民生委員は民生委員の役割が有り過ぎて、日々のお仕事も大変だとは思いますが。

たまにはこういう風な形で少し自由に話をしたら、統廃合も最初から教育委員会で統廃合します、しませんでは、なかなか喧々諤々となったりするのですが、地域の課題としてこういう風に話をしていくと、もう少し落ち着いて考えたり、こんな所から始めていかないと。

それから、今、色々なお話の中では、買い物でもこういうふうな手段・方法がありますと、最初から行政が全部通知書を出したとしても、なかなか出来るものではないのです。

でも、情報提供の中で交換しながらみると、これなら自治会できちんと流していこうとか、色々なことで新しく今の地域づくり、まちづくりには情報不足も沢山ありますけれども、ちょっと幅広い場を大いに活用しながら、地域の安心・安全を、これからは色々な意味で少し落ち着いて、課題解決に向けて協力し合っていけないといけない。

行政も色々な形で協力をしますが、最初から行政がこうしようというのは、そういうスタイルでは、なかなか行政も対応できていない。外灯の件もありましたけれども、地域要望から解決するような動きもありますので、行政は、全てに対応できないし、直ぐには答えが出ないことであっても、地域の中で少しずつでも動ければ、何らかの安心感になっていくことも多くありますので、多いにこのような新しいまちづくり集会や会議、新しい組織なども活用頂きながら、地域づくりにご協力頂けたらと思います。

【市】

それでは長時間ありがとうございました。以上をもちまして、中央部地区まちづくり集会を閉めたいと思います。